発展をつづけてきた福祉活動（一例）

自治会長・民生委員児童委員・地域福祉推進員・福祉協力員の合同会議で連携が
深まり、活動の基盤が強化されました。
【合同会議開催学区】 7学区社協

すこやかサロンから発展した、カフェ型サロンの実施で、地域住民同士の交流、居場所づくりがすすんできました。
【サロン実施回数】
H22：69 自治会・418 回⇒ H26:70 自治会・777 回

7学区社協全てに第２次学区地域福祉活動計画が策定され、より一層、地域の特性に応じた活動が展開されることとなりました。
【第２次学区活動計画策定済学区】 7学区社協

自治会「健康福祉部会」の活動がすすみ、地域で気になる方への、地域ぐるみの友愛訪問がすすんできました。
【見守り支え合い活動実施ヶ所】
H25：2 学区 ⇒　H26:　3 学区・16 自治会

第３次活動計画で取り組む重点課題

学区社協の取り組みの継続・強化
学区社協事務局、地域福祉推進員、市社協地域担当者との連携のもと、更なる特色ある地域福祉活動の発展をめざします。

見守り・支え合い活動の充実
地域ぐるみで見守り、支えあう活動を展開するなかで、顔見知りの関係を築き、安心して暮らせるまちの実現をめざします。

自治会『健康福祉部会』の推進
情報交換や課題を共有し、組織化することで、連携・協働や役割分担、活動の継続・発展をめざします。

重点的に取り組む福祉活動（基本計画Ⅰ・Ⅱ）

基本計画Ⅰ

基本計画	自治会 具体的な取り組み	学区社協 取り組み項目	市社協 取り組み項目
みんな、もちつもたれつの地域福祉動の展望	●住民に福祉の心を育てる催しの開催 ●住民同士のふれあいの場づくりの実施 ●若者が気軽に参加できる出番づくりの実施 ●各自治会の実情に合わせた行事の“楽しさ”づくりの実施 ●健康福祉部会の内容の充実	●障がい児・者を支援する福祉活動の展開 ●小・中学生の居場所づくりの支援の推進 ●住民同士のふれあいの場づくりの推進 ●福祉の心を育てる事業の開催（学校・園と） ●障害児・者や引きこもりへの居場所づくり ●住民にわかりやすい社協活動のPR ●若者の力を活かしたボランティア講座推進 ●夏休み中の学生向けボランティア活動 ●健康福祉部会の活動報告と情報共有 ●各種団体同士による交流会の開催	●相談支援体制の充実 ●地域福祉権利擁護事業の充実 ●住民同士の居場所づくりの充実 ●障がい児・者や引きこもりへの居場所づくり支援 ●住民に分かりやすい社協活動のPR促進 ●若者やシニア世代が活躍できる仕組づくり ●教委、学校・園と連携した福祉教育の充実 ●健康福祉部会の内容の充実 ●ボランティア(団体)同士の交流会の開催 ●市内各種福祉団体の連携
みんなが参加する地域福祉活動の充実≪担い手づくり≫			
みんなが協力する地域福祉活動の強化≪交流・協力の関係づくり≫			
「すこやかサロン」「子育てサロン」の充実	●自治会子育てサロンの実施 ●自治会健康福祉部会の内容の充実 ●友愛訪問の実施 ●昼間ひとり暮らし高齢者の見守り支援 ●地域の実情に応じた自治会行事の推進 ●世代間交流の実施 ●近所のお付き合いを進める活動の工夫 ●空き家を利用した居場所づくりの実施 ●健康福祉部会の充実 ●認知症の人や障がい児・者の理解のための研修会への参加 ●「声かけ運動、ゴミだし支援」の実施	●自治会子育てサロンの推進 ●赤ちゃん訪問、昼間ひとり暮らし高齢者の見守り支援の推進 ●先進地研修の実施（空き家活用、居場所） ●認知症の人や障がい児・者の理解のための研修会の開催 ●住民同士による見守りと支援活動の充実 ●「高齢者など支援のネットワーク」の形成	●地域で実施のサロンの実態把握とその結果分析と、フィードバック ●赤ちゃん訪問事業、友愛訪問の充実 ●昼間ひとり暮らし高齢者の見守り支援充実 ●日常生活支援の充実（新・総合事業） ●用具の貸出事業の継続 ●健康福祉部会の内容の充実 ●地域ぐるみ支え合い体制づくりの構築 ●命のバトンの推進（医師会との連携） ●介護事業の充実・機能強化 ●職員出前講座の充実
地域住民の見守り活動の充実			
地域住民の絆を深める活動の展開“地域の楽しさづくり”			
認知症や障がいのある人びととともに			
暮らす地域づくり			
避難行動要支援者の登録制度の普及協力と活用	●地域ぐるみ支え合い学習会の開催 ●防災・減災研修会の開催 ●車椅子やリヤカーなどの配備促進 ●防災マップや福祉マップの確認と避難支援を必要とする方へのサポート ●災害時の避難訓練の実施 ●「福祉避難所」の設置推進	●車椅子など福祉用具に関する研修会開催	●命のバトン・暮らしの安心メモの普及・啓発 ●民生委員による防火訪問と連携しながら普及啓発 ●地域ぐるみ支え合い体制の充実 ●車椅子やリヤカーなどの福祉用具の自治会配備支援 ●職員出前講座の推進
災害時に備えた日ごろからの研修や避難訓練の実施			
要支援者の救援の具体的方法の検討			
学区社協を主体とした独自性のある福祉活動への支援	●学区社協と連携した福祉活動の展開 ●地域の身近な生活関連施設と交流しながら福祉の理解を高める	●学区地域福祉活動計画の継続的な策定 ●懇談会の継続開催 ●地域の実情に応じた福祉活動の展開 ●「農福連携事業」の推進 ●ちょボラの推進 ●福祉関係団体との連携強化(相互理解) ●福祉施設の専門職との連携・交流 ●福祉施設との連携強化による理解の促進	●学区社協への継続的な支援 ●住民と一緒に福祉課題を共有できる懇談会の持ち方の工夫 ●住民が安心する見守り支援活動の充実(新・総合事業の推進) ●福祉団体連絡会の開催 ●NPO法人と連携による福祉活動の推進 ●福祉施設との情報交換会の開催
福祉関係団体・組織と学区社協との連携の場の			
各種の施設とつながり相互に理解を高め合う			
地域福祉活動の啓発の充実	●活動を通して市社協や専門職と連携しながら福祉の課題を共有できる健康福祉部会の開催	●福祉の心を育てるための事業の実施	●職員出前講座の充実 ●マスコットキャラクターもりぴーを活用した社協活動の積極的なPR
まちづくり関連事業との連携・協働			
学校、子ども会、PTAへの福祉活動の理解の促進			

基本計画Ⅱ

地域ぐるみの支え合い体制の充実
- 見守り・支え合い体制の構築
- 自治会健康福祉部会の充実
- 民生委員児童委員、福祉協力員など、地域福祉活動推進者への支援

各種相談体制の推進
- 生活困窮者への相談強化
- ネットワーク強化と相談体制の向上

ボランティアセンターの充実・機能強化
- 住民に頼りにされるボランティアセンターづくり
- 住民の暮らしを見守るボランティアの育成・充実
- ボランティア活動へのきっかけづくり

介護事業の充実・強化
- 安定した介護サービスの提供拠点として
- 在宅福祉の推進と地域福祉との連携

生活支援体制の整備
- 地域で担う生活支援、介護予防
- 支え合い活動の推進とコーディネート

市社協の基盤強化・財源確保
- 情勢変化に応じた組織基盤づくり
- 専門職員の確保と資質向上
- 財政基盤の強化

地域での活動事例

学区や自治会では「つながる」、「支えあう」取り組みをすすめておられるところがあります。
ここでは、今後守山市全域で、こうした取り組みが広がることを願い、その一例を紹介させていただきます。

住民の憩いの場としてくカフェサロン>

みんなが気軽に立ち寄れる場所としてカフェサロンを開催。子ども連れのお母さん、シニア世代の憩いの場、町内の委員会の打合せの場にもなっています。

運営に担うのは、民生委員児童委員、福祉協力員、健康推進員やボランティアで、日々の暮らしでのちょっとした困りごとの相談ができたりと、まさに住民の「居場所」として定着しています。

学区内の多様な団体が連携～子どもの安全を守る会～

自治会、まちづくり、子ども会、ＰＴＡ、学校・園、老人クラブ、補導委員、駐在所、民生委員児童委員が集まり、情報交換会を続け、現在は、連携・協力・分担といった支援体制が整いました。学区全体で「子どもの安全を守る」意識が高まってきています。

学区社協高齢者支援活動

第２次学区活動計画での新たな取り組みの一つとして、家庭で消費しきれなくなった農作物や物品を、必要な方々に届ける取り組みをスタート。届けられる品物は、回を重ねることに増え、地域にも「おすそわけ」が拡大しています。この取り組みを通じて、地域福祉が文化として根づくことを願い、活動を続けています。

情報交換が安心の合言葉

月１回民生委員と福祉協力員で見守り支援が必要な方を訪問し、３ヶ月に１回の情報交換会を行い、自治会とともに支援状況を共有しています。年１回の防災訓練の日には、部会が中心となり、民生委員と福祉協力員が一緒に、避難時に支援の必要な方々の手助けを行います。

住民と専門機関のつながりによる取組み

重度身体障がい者のお子さんの地域での居場所づくりに向け、自治会役員が夏祭りなどの行事に積極的に誘ったり、養護学校や介護サービス事業所、市社協とのつながりから高齢者福祉施設で実施されるイベントに参加されるようになるなど、住民と専門機関がつながった取組みが進んでいます。

学区社協と学校・園連携で福祉の心を育てるつどい

学区社協が呼びかけ、地域の保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校とＰＴＡ、また福祉施設などと一緒に行なっています。機関・団体の連携は、民生委員児童委員と小学校による友愛訪問活動やボランティア活動などの円滑な推進につながっています。

学区社協とまちづくりが一体となって

社会福祉協議会とまちづくり推進会議を包含する、「21活動協議会」を組織しており、学区活動計画も、この協議会で策定しました。計画をより多くの人に親しまれ、理解できるよう、絵本・紙芝居を作り、より一層福祉の啓発につとめています。

「ちょボラ」で福祉を推進

学区社協では、みんながやできることをできる範囲でボランティアを行う、ちょっとしたボランティア活動、略して「ちょボラ」運動を進めています。特に「830 個でワクチン１人分」を合言葉に、自治会をあげてペットボトルキャップ回収を行っています

子どもの貧困を見据えた学習支援

民生委員ＯＢが、誰もが学べる場を、と月１回の勉強を教える場を立ち上げました。この場には、大学生５名もボランティア協力し、次世代を担う子の学びと成長を期待し支援しています。こうした場が地域に広がることを願っています。

みんなで明るく軽やかにしっかりと生きていたい

「障がい児・者を抱える家族が身近な所でリフレッシュできる場所がほしい」、「障がい児・者への理解を広げたい」という思いから、家族会が立ち上がりました。住み慣れた地域で生活するために、住民の方々とつながり、お互いの顔の見える関係の積み重ねを続けています。

自治会福祉懇談会で情報共有

年２回、自治会三役、福祉部役員、民生委員児童委員、福祉協力員、健康推進員、赤十字奉仕団員で、福祉懇談会を行っています。活動情報の共有や、抱えている福祉課題を出し合い、解決方策を検討する場として機能しています。

第3次活動計画の構成

住民のくらしの困りごと
- 自治会福祉活動状況の聞き取り調査（自治会健康福祉部会の状況確認）
- 学区社協理事・市社協懇談会の開催
- 福祉施設へのアンケート調査

第２次守山市地域福祉活動計画
- 自治会・学区社協の重点的な取り組み
- 市社協の重点的な取り組み

点検・評価・掘り起し

第３次守山市地域福祉活動計画

守山市地域福祉計画 ⇔ 連携 ⇔ 各学区地域福祉活動計画

基本理念：みんなが主役 つながる 支えあう 福祉のまちづくり

基本目標
1．みんなで支えるみんなの福祉の構築
2．日々支えあう地域づくり
3．くらしの危機に備える地域福祉活動
4．学区社協と福祉団体・施設が連携する地域福祉の推進
5．地域福祉活動の基盤強化

基本計画Ⅰ
自治会・学区社協・市社協がともに連携しながら各地域の特性をいかし、住民が主体となる地域福祉活動を拡充していきます。

基本計画Ⅱ
地域福祉を担う事業体として、市社協は、地域住民の参加協力を得ながら、権利擁護事業や生活支援事業、介護保険制度に関連する事業などの充実に努めます。

第３次活動計画の進捗の把握

市社協専門委員会 ⇔ 地域福祉推進員連絡会 ⇔ （仮）市社協部門連携会議

各学区社協より選出の地域福祉推進員による、「地域福祉推進員連絡会」において、年度ごとに、計画の進捗状況を把握、点検・評価を行います。

自治会の人口推移

自治会	人口 H28	人口 H23	高齢化率 H28	高齢化率 H23	児童割合 H28	児童割合 H23
今宿	3,342	2,990	18.8	16.6	21.4	21.5
泉町	1,289	1,333	23.0	20.0	14.6	15.8
本町	986	1,040	19.8	17.3	14.6	16.3
梅田	2,090	1,598	11.4	12.2	20.6	18.3
勝部	4,780	4,160	13.2	11.1	19.8	19.6
焔魔堂	1,144	1,074	16.7	15.6	18.5	20.9
千代	1,242	985	8.8	7.6	31.1	31.6
阿村	590	428	10.9	12.9	26.8	21.3
伊勢	2,466	2,386	15.0	9.6	16.8	17.3
二町	2,099	2,040	16.8	12.7	15.8	19.7
古高	3,209	3,117	13.1	10.3	19.6	21.6
大門	1,008	980	14.9	11.7	18.7	21.3
横江	163	174	33.1	25.3	8.0	12.6
弥生の里	304	377	22.0	10.3	9.9	10.3
大島	426	461	27.4	14.1	8.9	6.9
サムズ守山	205	227	13.1	6.6	7.8	13.2
元町	3,215	3,285	18.7	16.9	15.7	19.8
下之郷	2,111	1,928	19.0	16.4	19.9	19.3
吉身西町	268	286	23.9	17.5	11.9	14.7
吉身中町	2,219	2,328	27.0	23.1	13.9	14.9
吉身東町	2,618	2,444	14.9	12.9	21.2	20.9
岡	1,407	1,377	20.7	18.1	17.2	15.2
立入	1,593	987	11.9	14.0	26.7	20.8
浮気	2,022	1,895	19.3	15.6	16.8	15.6
グランドメゾン	923	1,028	26.1	12.7	6.3	8.5
レウス	448	482	11.6	5.2	11.6	13.7
金森	1,617	1,590	27.2	22.8	15.3	13.6
三宅	636	687	31.5	24.8	12.3	12.2
大林	566	570	39.9	30.5	10.4	8.2
欲賀	1,422	1,312	15.6	13.3	25.3	21.1
森川原	333	387	34.2	23.5	6.9	7.8
山賀	339	369	27.7	27.4	13.6	13.3
杉江	467	501	31.5	27.0	9.0	11.4
三宅稲葉	293	310	42.0	24.5	7.5	7.4
金森山柿	188	201	35.6	24.4	11.7	10.4

自治会	人口 H28	人口 H23	高齢化率 H28	高齢化率 H23	児童割合 H28	児童割合 H23
赤野井	1,085	1,177	35.3	27.6	8.7	11.2
矢島	1,168	1,256	30.7	24.8	11.6	11.4
石田	1,467	1,503	26.3	20.4	12.3	12.2
十二里	187	184	29.4	22.3	13.9	15.8
小島	1,331	1,165	17.0	15.0	23.5	24.1
阿比留	983	930	13.3	12.9	24.9	27.6
播磨田	5,300	5,070	19.6	16.1	18.1	20.3
布施野	177	189	40.7	37.2	5.1	5.8
今市	302	328	38.7	28.7	9.6	10.4
荒見	227	228	29.5	27.2	12.3	11.8
笠原	830	715	28.4	28.5	19.9	15.9
中町	355	385	28.5	24.9	10.7	11.4
川田	805	640	16.0	14.8	27.0	19.7
喜多	228	243	32.9	26.8	14.0	16.0
田中	352	360	39.2	27.2	11.9	11.7
川辺	122	129	30.3	25.6	12.3	10.1
川中	453	485	37.0	27.2	11.7	11.8
河西ＮＴ	1,666	1,620	34.7	23.9	14.3	11.5
河西ハイム	537	544	31.5	20.4	15.6	16.0
ラフィーネ	262	294	11.1	5.8	17.6	22.1
開発	828	848	35.8	32.3	11.4	11.8
大曲	369	391	32.0	25.8	9.8	9.0
木浜	1,178	1,282	31.8	26.8	10.6	12.8
今浜	776	802	29.1	23.8	12.5	13.7
美崎	1,879	1,836	21.5	15.3	16.2	17.2
水保	554	599	34.8	30.7	8.8	11.4
中野	2,136	1,960	15.1	11.9	20.9	19.1
中野小林	1,612	1,781	16.7	10.5	12.2	14.7
北川ＮＴ	1,840	1,639	9.5	7.3	20.5	23.4
ネオペラ	1,464	1,196	5.9	3.9	32.8	37.8
新庄	216	228	32.9	25.4	13.4	11.8
服部	400	400	35.0	30.5	11.0	9.0
立田	836	884	32.9	27.2	14.0	14.6
幸津川	747	790	30.0	26.1	12.4	13.4
小浜	394	419	27.2	25.1	15.7	14.1
守山市	81,094	77,837	20.4	16.9	17.5	17.5

※数値は各年１月１日現在

第３次守山市地域福祉活動計画
みんなが主役 つながる 支えあう 福祉のまちづくり
平成 28（2016）年３月 発行

社会福祉法人 守山市社会福祉協議会
〒524-0013 滋賀県守山市下之郷三丁目２番５号
（守山市福祉保健センター内）
TEL 077-583-2923　FAX 077-582-1615

平成28年度～平成32年度
第３次守山市地域福祉活動計画

概要版

みんなが主役 つながる 支えあう 福祉のまちづくりプラン

「はしごが多い木」表紙絵：吉身小学校４年 竹内 隆真 さん

表紙絵は、「はしごが多い木」という題です。

太い幹を中心に、枝葉が力強く広がり、それぞれの枝同士がはしごでつながり、木の下では、人が仲よさげに輪になっています。

この絵は、この計画のために描かれたものではありませんが、基本理念である、「みんなが主役 つながる 支えあう 福祉のまちづくり」が表現されているとの思いから、表紙絵に掲載させていただきました。

この絵のように、自治会・学区社協・市社協の連携を幹として、さまざまな団体・施設とつながるとともに、年齢や障がいの有無にかかわらず、みんなで手を取り合いながら地域福祉活動が進むことを願っています。

平成28(2016)年３月
社会福祉法人 守山市社会福祉協議会

第3次活動計画の概要

基本理念

「みんなが主役 つながる 支えあう 福祉のまちづくり」
計画期間：平成28年度から平成32年度までの５年間

「つながる」「支えあう」を軸に・・・

この計画は、「みんなが福祉の担い手であり、福祉の受け手である」という考えのもと、「つながる」「支えあう」という、連携・協力・相互支援を軸にしています。
自治会・学区社協・市社協が相互に連携・協働しながら、それぞれの特性を活かした活動を展開し、地域福祉の推進をはかります。
また、新しい課題に対応すべく、地域の住民や福祉団体・施設・NPOなどが連携を密にするとともに、啓発活動をすすめ、さらなる地域福祉活動の発展をめざします。

地域福祉活動計画
社会福祉協議会が呼びかけて、地域住民やボランティア、福祉施設等が相互に協力して策定する、地域福祉の推進を目的とした、福祉のまちづくり計画です。

社会福祉協議会
「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体（社会福祉法第109条）」で、「住民主体」の活動原則のもと、民間組織として住民の自主的な取り組みを基礎とした活動をすすめています。

自治会・学区社協・市社協の役割と相互関係図

自治会「健康福祉部会」
今も昔も、ご近所の助けあいなど、もちつもたれつの地域の福祉活動は住民が主役です。くらしの課題や健康のこと、生きがいなどについて地域のより多くの人びとが語らう場面として、自治会健康福祉部会の設置とその機能充実を推奨します。